

ドキソルビシン単剤療法

(ゲムシタビン+ドセタキセル療法 4 コース施行後)

診断名: 子宮平滑筋肉腫

○投与スケジュール(1 コース 21 日間)

Day1(点滴): ドキソルビシン div 60 mg/m²

累積投与量 500 mg/m²まで(心筋障害)

4 コースを基本とする。

Day2~4(内服) デカドロン錠 0.5mg 16錠 分2:朝・昼 3日間

○開始基準

開始前に必ず心エコー、心電図検査を行い、EF \geq 50%を確認すること。また、以下の検査値を守ること。

好中球 $>$ 1500/ μ L、血小板 $>$ 10 万/ μ L、Hb $>$ 8 mg/dL、Cre \leq 基準値 \times 1.5、Bil 正常値

○注意事項

1. 本剤をドキソルビシン塩酸塩リポソーム注射剤の代替として使用しないこと。また、本剤ドキソルビシン塩酸塩リポソーム注射剤と同様の用法・用量で投与しないこと。
2. アントラサイクリン系薬剤未治療例で、本剤の総投与量が 500mg/m² を超えると重篤な筋障害を起こすことが多くなるので注意すること。また、胸部又は腹部に放射線療法を受けた患者では心筋障害が増強されるおそれがあるので特に注意すること。
3. 静脈内投与により血管痛、静脈炎、血栓を起こすおそれがあるので、注射速度をできるだけ遅くすること。
4. 血管外に漏れると、注射部位に硬結・壊死を起こすことがあるので、薬液が血管外に漏れないように投与すること。

○主な副作用

脱毛 61.6%、白血球減少 43.4%、悪心・嘔吐 42.9%、食欲不振 39.7%、口内炎 22.2%、血小板減少 15.6%、貧血・赤血球減少 14.6%、心電図異常 12.1%